

第2回 大阪市下水道事業経営検討懇談会 議事要旨

1. 開催日時 令和6年7月17日（水）16時00分～18時00分

2. 開催方法 ウェブ会議

3. 出席者

（メンバー）

貫上委員、木村委員（座長）、塩田委員、藤原委員

（事務局）

原田調整課長、松原下水道経営担当課長、ほか5名

4. 議事

（1）第1回議事要旨の確認と本日の主な論点

（2）事業の優先度設定と投資計画（30年）

（3）財源確保に向けた取り組み

（4）投資・財政計画の試算条件

5. 議事要旨

（事業の必要性、示し方について、主な意見）

- ・ 将来世代に負担を残さないために、それぞれの世代が均等に負担できるような投資計画を立てるという説明が必要。
- ・ 浸水対策については、今後の人口分布もふまえ、市民の生命・財産に与える影響が大きいところなど優先順位をつけて、どこから実施していくか検討するべき。
- ・ 老朽化施設の改築にあたっては、将来世代との負担の平準化という観点から事業の必要性を伝えることが重要。
- ・ 機能維持については、現在の経営戦略からどう変わったのかももう少し強調するなど、説明が必要。

（事業費に対する説明について、主な意見）

- ・ 事業費を説明する際の考え方としては、①インフレによる影響、②国の方針をふまえた整備目標の変更による影響（気候変動を踏まえた浸水対策）、③その他今回経営方針を見直したことによる影響と3つに分けて説明していくべき。
- ・ 機械設備工事の物価高騰については、近年、入札不調等により全国的な価格に近づいてきたということであれば、今後下がる見込みは小さいため、高位の方で検討すべき。また、低位・高位と割り切って考えるのではなく、原因分析に基づいた確率も合わせて示してほしい。